

平成 30 年 11 月,12 月度活動報告

1. 総括

時の流れを早く感じた 11 月 12 月も皆様に支えて頂きながら、議員活動に邁進致しました。今年 1 月から始めた街頭演説にもいつも励ましを頂き、本当にありがとうございました。お陰様で 12 月までの 1 年間で計約 180 回、同じ場所・時間帯で街頭に立たせて頂きました。2 日 1 回のペースでありましたが、暑い日も寒い日も皆様に支えて頂きながら街頭に立つことができました。夕方に大きな音で本当にご迷惑をおかけ致しました。もう少しだけ継続をお許し頂きたく、宜しくお願い致します。またこの 2 カ月は私にとって公私で大きな出来事が二つありましたので、下記に記させていただきます。

2. 新ムゼウム建設関係費、約 12.2 億円の予算案に反対

11 月 27 日より市議会定例会が開会され、前回の活動報告でも取り上げた金ヶ崎周辺整備計画の「新ムゼウム」の建設関係費合計約 12.2 億円(債務負担行為含む)の予算案が上程されました。予算決算常任委員会での審議の結果、現計画では市民の理解を得られないとの理由で予算を削除する修正動議が出され、賛成多数で可決されました。私の意見としても現計画では到底市民に説明できない上、市民にメリットが少なく、市民に負担を求めるハコモノはこれ以上必要のないと考えておりますので、修正動議に賛成(予算案に反対)の討論をさせていただきました。新幹線開業に向けた「まちづくり」事業としても、市民全体に事業の 50%以上の恩恵がないと感じられる事業について、今の敦賀市の財政状況では非常に厳しいと考えます。また、毎年の運営費から出る大きな赤字を市予算(市民の税金)で賄っていく事業形態をこれ以上増やすべきではなく、建設に国・県から補助金を得る以上、一定期間は事業内容の変更はできずリスクが大きすぎると感じます。この議案に関しては、本年 1 月 8 日に臨時議会が招集され、事業内容が改められた議案が上程され、再度審議することになりました。改めた内容について既に 12 月 27 日に全員協議会の場で行政側より説明を受けておりますが、私としては「ハコモノ」建設の敦賀市の持ち出し約 5.5 億円と、運営を民間委託し大きな赤字が出る可能性がある以上、今の敦賀市の財政状況では市民の理解は得られないと強く感じております。1 月 8 日はしっかりと意思表示する所存です。

3. 福井県議会議員選挙への出馬表明

議会定例会の最終日 12 月 18 日に市役所記者クラブにて 3 月 29 日告示の統一地方選挙・福井県議会選挙に出馬する旨を表明致しました。出馬の理由を聞かれ、「若輩であるが、先輩方が守られてきた大切な敦賀を次の世代にしっかり引き継ぐため、県政のパイプ役として県が管轄する敦賀市の諸課題に力を尽くしたい」と話しました。また、重点項目として「敦賀市の防災力を高めるインフラ整備の推進、子供たちへの投資(教員不足解消、やりたいこと伸ばせる教育)、県から敦賀市への観光政策の充実」を上げさせていただきました。緊張しており話忘れましたが、現在、障がい者就労支援を運営に携わらせて頂くなかで様々な課題が見えております。県が所管する障がい者福祉政策の向上も訴えていきたいと強く思っております。

多くの市民の皆様方と同様に敦賀市を愛しておりますので、敦賀の為に直接的に仕事がしたいと考えております。もちろん市議会議員としても、できることはたくさんありますが、もう一つ大きな予算の中で、福井県が管轄する敦賀市の諸課題の改善に邁進したいと強く思っております。現在 39 歳で未熟ある事は十分自覚しておりますが、政治活動を本格的に始める 33 歳まで十分に自分の為だけに生きてきました。社会のルールは守っていましたが、好き勝手にやってきましたし、家族含め多くの方々にも迷惑をかけてきたと思っております。体が活動的に動く間、敦賀市に福井県に日本に少しでも役に立てるような仕事したいと微力ながら思っております。21 歳で政治家を志してから、この想いは変わりません。初志貫徹の想いをもち、全力で頑張ります。

以上